

本邦幼稚園教育開始滿五十年

明治八年九月幼稚園開設が當時の文部省に於て決定せられ、明治九年六月東京女子師範學校と並んで本郷區湯島に一幼稚園が設立せられ幼兒保育を始めたのが實に本邦に於ける幼稚園教育の嚆矢である。尤も明治八年に於て京都柳池學校内に保育所が設けられた。しかし半歳ならずして止められたから東京に官立幼稚園が設立せられたのが眞に幼稚園教育の嚆矢といつて差支ない。而して明治九年より大正十五年まで實に滿五十年の歲月を經過してゐる、此五十年間に幼稚園教育は漸く發展しつゝある。小學校教育は義務教育として全國に普及すべきこと勿論であるが、中等教育たる中學校高等女學校の教育が著しく進歩發展せるに比すれば幼稚園教育は實に僅かな發展である。幼稚園、託兒所の數に於ても保姆幼兒の數に見るも實に僅少なる數量にすぎぬ。また幼稚園令が五十年を経た今日に於て漸く審議を終はり發布せられるといふ有様にては萬事につけ幼稚園の前途は實に發展すべき餘地に富むものといはねばならぬ。尤も幼稚園教育は家庭教育と密接なる關係を保つべきものであるから幼稚園教育は家庭教育の進歩と相待たねばならぬ。兎に角今年六月は幼稚園教育創始以來滿五十年に相當することを大に祝賀せねばならぬと共に將來大なる發展を期する覺悟をなさねばならぬ。(堀生)